

一中学生徒の最善最高の自覚と実践 NO4(R4.6.9)

○主幹教諭より

6月8日(水)に「一中校区幼小中連携教育推進協議会(六校園)」が開催されました。これは、一中校区内の幼稚園・小中学校の園児並びに児童・生徒に対し『義務教育修了までの15年間の育ちの中で、系統的・継続的な保育、教育を行い、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成を図る』との目的があります。

保育・教科授業、特別支援教育、道徳・人権教育、いじめ・不登校の未然防止、健康増進、食育、児童会・生徒会、生徒指導、PTA連携の各委員会に分かれ、今年度の具体的実践事項が協議されました。

本校は、義務教育のゴール地点を預かっています。子どもたちが誕生し、15年間を過ごす中で、「この地域で育ってよかった!」「この仲間たちと出会えて幸せだった!」と実感できるよう、「夢と目標に向かってともに学び合う心豊かでたくましい子ども」の育成に向け、幼稚園、小学校の先生方と連携しながら、また、保護者の皆様、地域の皆様のご支援をいただきながら、今後も一中校区の強みを生かし、教育活動に邁進していきます。

☆最善

『六校園で幼小中連携の取組を協議しました!』



☆最高

『体力テスト! 精一杯頑張りました!!』



☆自覚

『家庭学習の習慣化へ! 生徒朝会!!』



☆実践

『命を守ります! 安全委員会の活動!!』

